

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2026年 第26週 (2026年6月22日～6月28日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

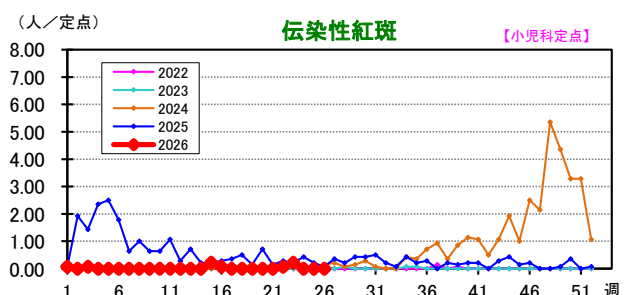
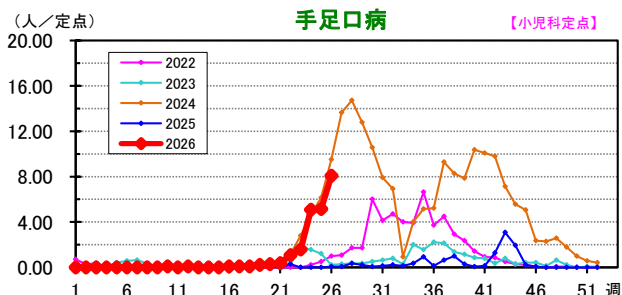
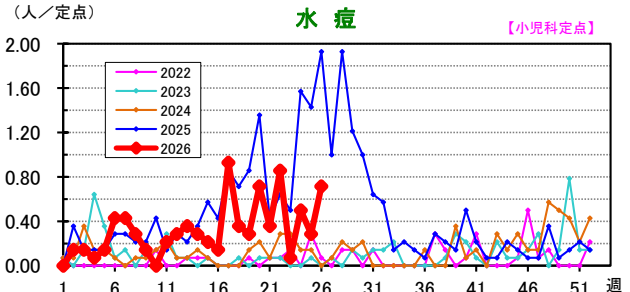
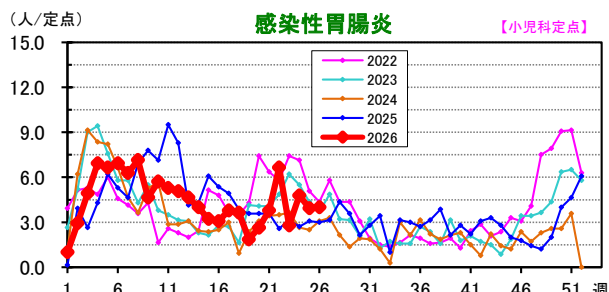
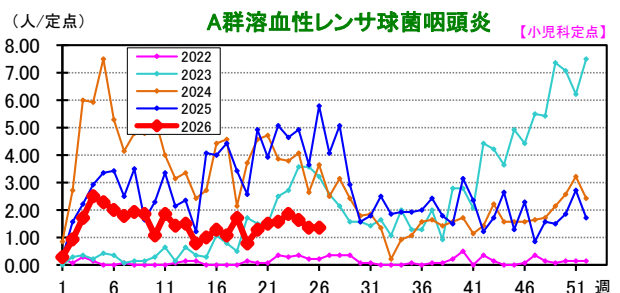
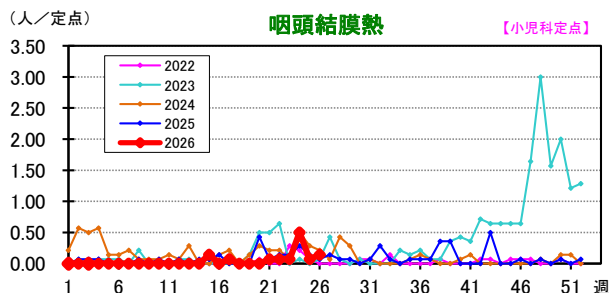
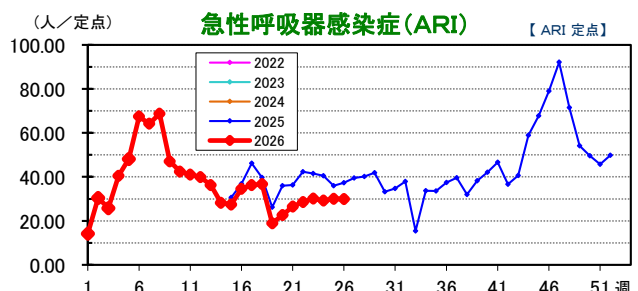
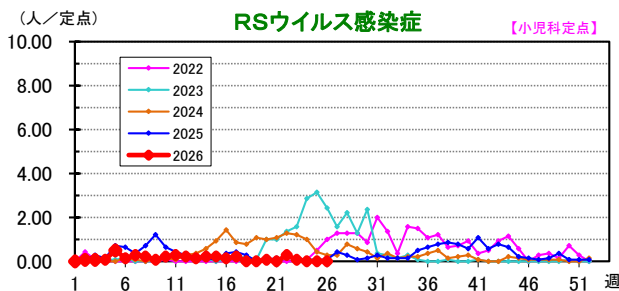
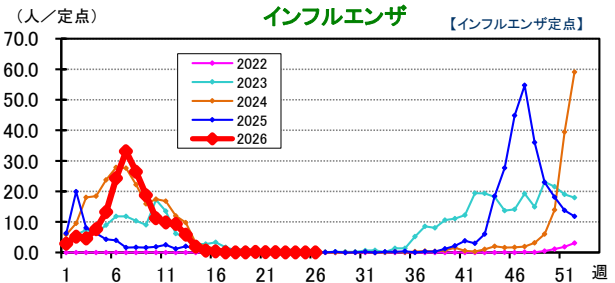
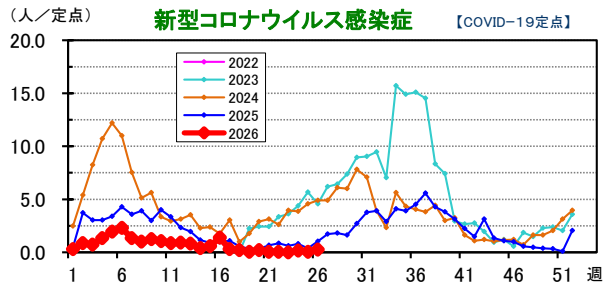
＊管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

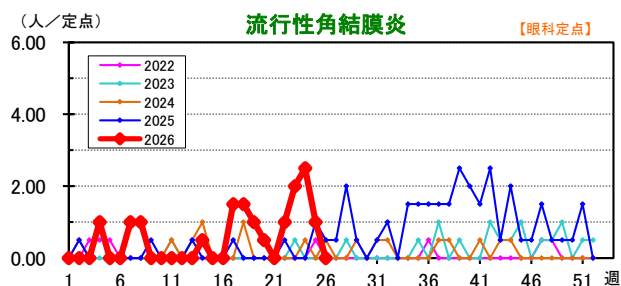
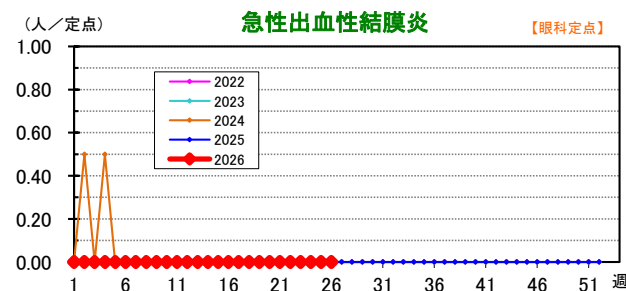
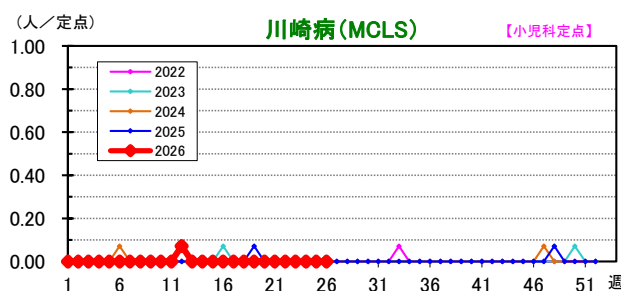
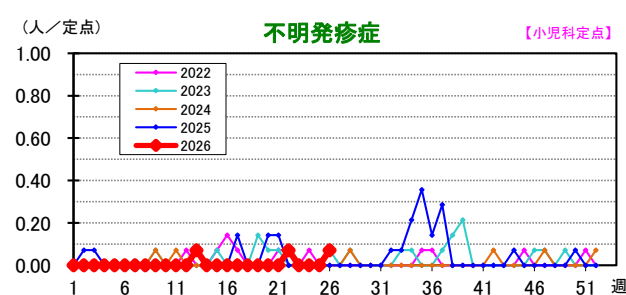
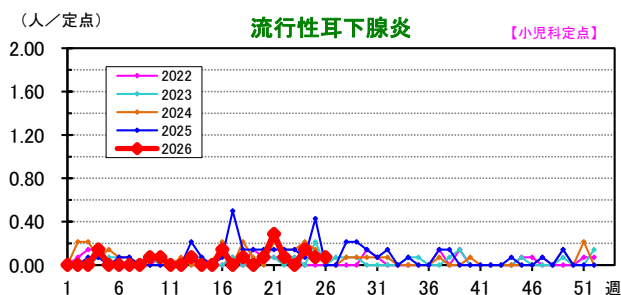
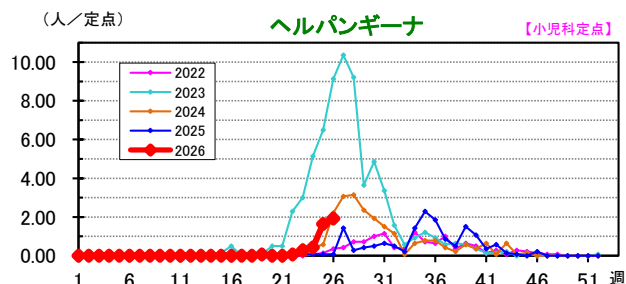
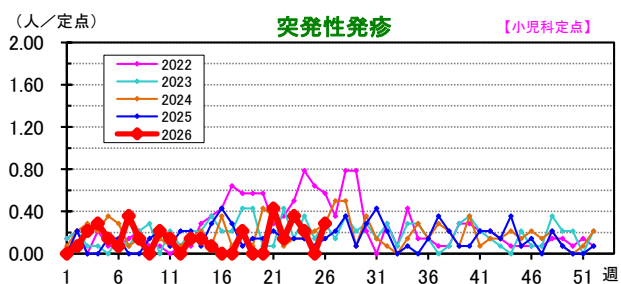
【定点把握対象疾患】＊定点医療機関:COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・ARI定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

・手足口病は定点当たり8.07と前週から約1.6倍に急増し、3週連続で流行警報基準(5.0)を上回っています。ヘルパンギーナも1.93と増加が続いており、夏季感染症の流行が拡大中です。手洗いの徹底など基本的な感染予防対策をお願いします。

【感染症集団発生状況(新規)】

・手足口病10件(保育所)、溶連菌感染症1件(保育園)、不明熱1件(保育園)の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2026								1週からの 報告累計数
	23週		24週		25週		26週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	0	0.00	3	0.14	1	0.05	5	0.24	386
インフルエンザ	1	0.05	1	0.05	0	0.00	0	0.00	3,701
RSウイルス感染症	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	49
急性呼吸器感染症(ARI)	632	30.10	613	29.19	631	30.05	627	29.86	19,883
咽頭結膜熱	1	0.07	7	0.50	1	0.07	2	0.14	16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.86	23	1.64	19	1.36	19	1.36	537
感染性胃腸炎	39	2.79	67	4.79	55	3.93	56	4.00	1,628
水痘	1	0.07	7	0.50	4	0.29	10	0.71	117
手足口病	22	1.57	71	5.07	72	5.14	113	8.07	310
伝染性紅斑	3	0.21	0	0.00	0	0.00	0	0.00	10
突発性発疹	5	0.36	3	0.21	0	0.00	4	0.29	51
ヘルパンギーナ	4	0.29	6	0.43	23	1.64	27	1.93	62
流行性耳下腺炎	0	0.00	2	0.14	1	0.07	1	0.07	18
不明発しん症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.07	3
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	4	2.00	5	2.50	2	1.00	0	0.00	29

手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)などの「夏かぜ」が、乳幼児を中心に流行しやすい時期です。これらは発熱やのどの痛み、口や手足の発しん、目の充血などの症状がみられ、多くは軽症で経過しますが、まれに合併症を起こすことがあります。感染は、せきやくしゃみによる飛まつ、手指やおもちゃを介した接触、便などを通じて広がります。こまめな手洗い、タオルの共用を避けるなど、日頃からの基本的な感染対策を心がけましょう。体調不良時は無理をせず、早めに医療機関を受診してください。

[厚生労働省>「夏を安全に楽しもう！感染症対策ガイド」](#) 🔍